

議会だより

かどがわ

October
2018

10

No.156

はいれ～!!



五十鈴小学校秋季大運動会 1年生玉入れ

- ・ 30年度補正予算2P
- ・ 29年度決算3P
- ・ 一般質問 5人が登壇7P
- ・ こんなことが決まりました12P

一般会計
歳入・歳出
決算認定
(全員賛成)

平成29年度決算

(千円未満切捨て)

予算規模		決算額	
当初予算	72億5500万円	歳入	83億3813万3千円
国庫補助などの補正	10億808万6千円	歳出	81億68万円
最終予算	82億6308万6千円	差引額	2億3745万3千円

※前年度比0.6%の増額予算

実質収支額 2億539万7千円の黒字 実質収支比率4.6%

※実質収支額(上記決算差引額から翌年度繰越財源3205万6千円を差し引いた額)

・自主財源	38.3%(31億9224万3千円)	前年度35.0%
・依存財源	61.7%(51億4589万円)	前年度65.0%

特徴的な事業



地域おこし協力隊：西門川、牧山



かどっぴータクシー運行開始

特別会計・水道事業会計決算認定(全員賛成) (万円未満切捨て)

会計名	歳入	歳出	※執行率
国民健康保険事業	30億3956万円	28億2038万円	95.2%
後期高齢者医療	4億2553万円	4億2232万円	98.8%
介護保険事業	16億2994万円	15億5216万円	95.5%
簡易水道事業	1267万円	1067万円	86.7%

※執行率とは、支出済額(歳出)を予算現額で割ったもの

主な繰越事業・・・心の杜空調施設整備事業、産地パワーアップ事業、松瀬川水流線道路改良事業、南ヶ丘山ノ口線道路改良事業、倉谷地区排水路整備事業など

水道事業会計 総収益 3億768万円 支出 2億6260万円 純利益 4508万円
資本的収入 336万円 資本的支出総額 1億4554万円
不足分、約1億4千万円は損益勘定留保資金で補填

平成30年 第3回定例会

平成30年第3回定例会は、9月4日から19日までの16日間開かれました。本議会において、諸般の報告、委員長報告などが行われ、任命同意1件、条例制定1件、条例改正2件、補正予算5件、決算認定6件、剰余金処分1件及び意見書1件ほか、計19件を一部委員会に付託して慎重に審議、討論、採決を行い、すべて原案通り可決・承認いたしました。一般質問では、9月5日に計5人の議員が登壇し、町政について論戦を行いました。

一般会計
可決
(全員賛成)

30年度 補正予算

歳入・歳出とも 2億5012万1千円 追加

総額 77億6412万1千円

主な歳入

町税	8635万6千円	追加
県支出金	4415万7千円	追加
町債	1970万円	追加
繰入金	3015万3千円	追加
繰越金	5539万6千円	追加

主な事業

林道など林業用施設災害復旧	3750万円
道路・河川など公共土木施設災害復旧	1800万円
ブランディングプロジェクト事業 ※1	357万1千円
とびだせプロジェクト事業 ※2	194万2千円
乙島シャワー室整備 乙島太陽熱温水器設置	469万5千円
自主防災組織活動助成	150万円

特別会計補正予算可決(全員賛成)

国民健康保険事業

歳入歳出に2億917万8千円を追加
歳入歳出 総額25億9868万6千円

主な歳入	
29年度繰越金	2億917万8千円
主な歳出	
国、県への償還金	2359万4千円
一般会計への繰出金	1077万4千円
予備費	1億7454万円

後期高齢者医療

歳入歳出に489万6千円を追加
歳入歳出 総額4億3402万円

主な歳入	
一般会計から繰入・国庫支出金	408万1千円
主な歳出	
システム改修・広域連合納付金	374万7千円

簡易水道事業 営業費用 84万円増

※1 門川の地場産品を積極的に売り込んでいくためにブランド認定をする。

※2 ドローンの活用で門川の魅力を町内外にアピール



ドローン

介護保険事業

歳入歳出に9083万5千円を追加
歳入歳出 総額16億6409万8千円

主な歳入	
繰越金	7478万1千円
交付金	1947万円
主な歳出	
基金積立金	2023万6千円
償還金	2744万5千円
一般会計繰出し、予備費	2165万4千円

総務財政常任委員会

主な質疑

総務課

圓マイクロボスの借上げと町保有の場合の比較は。

圓当初、切り替え時に試算しているが、直近では比較していない。

圓月残業100時間超の職員は。

圓平成29年度、3人。

圓施設管理委託料は個人との契約か。

圓業者委託である。

圓臨時、非常勤職員の人数は。

圓町長部局32人、教育委員会29人の計61人(30年3月末)。

圓防犯灯のLED化は。

圓町管理324基のうち28基、約8・6%済。老朽化している箇所から切り替えていく。

圓自主防災組織活動事業補助の状況は。

圓5地区に補助。加草3区で「避難路のコンクリート舗装」、庵川東区「避難路の除草シート、手すりの追加、資機材倉庫設置」、南町1区「避難場所のコンクリート舗装」、城ヶ丘区「炊き出し用かまど購入」、上町区「非常用照明設備」など。

圓財政課・新庁舎建設室

圓原山町宮住宅跡地の賃貸状況は。

圓日向病院に月10万円で貸付け。

圓新庁舎建設町民審議会開催状況は。

圓審議会委員21人。基本構想段階で4回、基本計画時に5回計9回。

圓税金課

圓12月から5月までの納税申告時期などは残業が多いが、現在は平

圓大規模なテニスコートの改修を行ったが、利用者数は。

圓2万4250人。改修前と比べて、季節を問わず平均的に利用している。

圓県指定のウスギモクセイはどのよう

圓小松地区の高齢者クラブに周りの除草、清掃などを行って

圓図書カメラとは。

圓授業で手元の作業やノートなどをスクリーンに拡大することで、クラス全体に理解を深める。各クラスに1台整備している。

文教厚生常任委員会

主な質疑

圓カンムリウミズメの生息地は、東京都神津島村など3カ所なのか。

圓カンムリウミズメの生息地については、解明されていない部分が多く、ジオロケーター(GPS)での調査で観測された。国内では、福岡県、山口県、東京都、北海道でも生息が確認された。

圓奨学金の公募時期は。

圓例年、町広報3月号で募集をかけている。対象は高校、専門学校、短大、大学に在学中または次年度在学予定の方。

圓30年度の給食調理業務契約の更新時期にあたり、29年度に審査があったが何社から応募があったのか。

圓プロポーザル(総合評価)方式で行い4社参加があり、選考委員会で1社を選考している。

圓児童福祉の負担金が前年度と比べて減った理由は。

圓29年度4月から南町保育園といすず保育園が認定こども園に移行し、保育料を徴収することがなくなったため。

圓健康診断の受診状況で受診率が低い検診の種類は何か。

圓大腸内視鏡検診の受診率が特に低くなっている。通知内容が変わったことにより、住民に「自分が内視鏡検診の対象になっていない」ということが伝わりにくい案内となつてしまったためである。30年度は受診率が上がる対策を計画している。

圓町民課

圓健康診断の受診状況で受診率が低い検診の種類は何か。

圓大腸内視鏡検診の受診率が特に低くなっている。通知内容が変わったことにより、住民に「自分が内視鏡検診の対象になっていない」ということが伝わりにくい案内となつてしまったためである。30年度は受診率が上がる対策を計画している。

圓町民課

圓健康診断の受診状況で受診率が低い検診の種類は何か。

圓大腸内視鏡検診の受診率が特に低くなっている。通知内容が変わったことにより、住民に「自分が内視鏡検診の対象になっていない」ということが伝わりにくい案内となつてしまったためである。30年度は受診率が上がる対策を計画している。

圓町民課

圓健康診断の受診状況で受診率が低い検診の種類は何か。

圓大腸内視鏡検診の受診率が特に低くなっている。通知内容が変わったことにより、住民に「自分が内視鏡検診の対象になっていない」ということが伝わりにくい案内となつてしまったためである。30年度は受診率が上がる対策を計画している。

圓町民課

圓健康診断の受診状況で受診率が低い検診の種類は何か。

圓大腸内視鏡検診の受診率が特に低くなっている。通知内容が変わったことにより、住民に「自分が内視鏡検診の対象になっていない」ということが伝わりにくい案内となつてしまったためである。30年度は受診率が上がる対策を計画している。



加草3区避難路舗装



本年20周年 心の杜

均2時間程度。業務委託などで減らしていきたい。

まちづくり推進課

圓場外車券売場周辺環境整備協力金の補助率の見直しは。

圓公民館などの整備補助に充て、加草地区4分の3、他地区2分の1。

圓区長会などで意見を聞いていく。

圓心の杜の老朽化対策、運営方針見直しは。

圓本年20周年を迎え、保全会と連携し修繕など計画的に更新していく。

圓各事業の検証は。

圓地方創生推進会議で報告。

圓町内の空き家は。

圓昨年調査で117件把握。活用できるか検討している。

委員会からの意見

1.心の杜

町負担分の改善が見られない。

視点を変え、施設は緊急避難所でもあるので「緊急防災・減災事業債」等の活用で、体育館に空調設備を新設。スポーツ合宿、イベントの開催・誘致などで使用料増収を図る。

2.新庁舎建設

基本構想、基本計画の策定が終了、実設計の段階である。高額な建設費を鑑み、

3.職員数

所属課、時節等により時間外勤務は避けられないが、一部の職員に負担がかかることは避けるべき。

4.企業誘致

県と連携し、企業訪問を継続して行うことと、地元企業への支援強化をすることで地元雇用の拡大を願う。

5.消防・防災関連

消防機庫並びに消防設備の充実、自主防災組織整備事業補助金の利用促進。地域住民の防災意識の向上を高めるべき。

町民への説明機会、周知徹底を図り、庁舎建設への理解度を増すように。

※ジオロケーター
鳥の脚などに装着し、その
移動経路を調査するための
小型装置



草川小学校 現地調査



社会福祉センター 現地調査

圓予防接種実績の市郡単価と広域単価の違いは。

(記 小林)

まちづくり推進課
園観光用PRグッズはどのような活用がなされているのか。

園豪華列車ななつ星の停車時に乗客に絆創膏を配布。手旗はななつ星の送迎時に配布。ハンドタオルは町外からの来町者に配布。ステッカーは裸まわりや小園臼太鼓の時に配布している。

園乙島の利用者数は。園昨年は宿泊者数が318人で今年は400人程度。日帰りだと8,900人ほど。

園乙島のキャンプ場施設の改修内容は。園炊飯棟流し台の更新やウッドデッキ2基の増設を実施。



炭酸ガス発生装置農場 現地調査

農林水産課

園水田農業構造改革対策事業での面的集積地の数値は。

園重点実施地区として庵川東が28haのうち17ha、上井野が16haのうち10ha。その他に中村、五十鈴、城屋敷が対象。

園水稲面積における飼料用米等への転用の割合は。

園水田活用の直接支払い交付金にあつては飼料用米1.9ha、稲発酵粗飼料25.5ha、他は加工用米。

園農産園芸振興事業に

おける産地パワーアップ事業での内容と対象戸数。

園培養液により作物を栽培する養液栽培(水耕栽培)が4人と、植物にとつて光合成を行う上で必要な二酸化炭素をつくる炭酸ガス発生装置の導入が2人。

園担い手支援対策事業で認定農業者の更新状況は。

園更新期間は5年で57法人を認定。残る28法人は再認定である。

園有害鳥獣駆除をする狩猟免許保持者の高齢



栄ヶ丘団地D棟 現地調査

化が懸念されるが。園猟友会構成員の高齢化は把握しつつ、今年からは県の方が箱罟等の免許取得に一部補助しており有害鳥獣対策を講じている。

園道路新設改良費の松瀬・川水流線道路改良事業の進捗状況は。

園29年度分が390m竣工する事で延長1410mが完成した。

園道路改良事業での南ヶ丘・山ノ口線の進捗状況は。

園昨年度は用地買収と

測量などが終了した。今年度に完成予定である。

園住宅使用料の滞納額について。

園滞納額は1700万円ほどで50人が滞納しており、前年度からの滞納者が31人。

園門川高校通線の梅ノ木地区三差路の安全対策は。

園今年度中に信号機が設置される予定。

園簡易水道の工事請負費の内容は。

園上井野地区にある残留塩素計の更新によるもの。

園水道事業特別会計の不納欠損の内訳は。

園対象者は17人で、112件においては1月の水道料金を示している。

園し尿処理費で、衛生センター修繕費の内訳は。

園脱水機整備などの9件分。

園衛生費の報償費の交付状況は。

園前年度は32団体で、年によりばらつきがある。

園地区清掃での枝や草の処理は。

園透明のビニール袋に入れて処理しており、郡内統一した取扱である。(記 菊地)

あなたの声を町政に 一般質問 5人が登場!

一般質問は議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの方針を問うものです。

手話言語条例の制定について

なかじょう よしかつ
中城 資力

町長 国や他市町村の状況を見る

園平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、行政機関には障がい者の権利利益を侵害する事とならないよう、社会的障壁の除去の実施について必要かつ合理的配慮が求められるようになりました。

園一方では、障がいに関する相談・悩みも多様化・複雑化してきており、年金・虐待・生活困窮・就労・結婚といった多くの問題が重なり合

つて起きている状況です。以上を踏まえて、以下のとおり問います。

園現在、本町における聴覚障がい者に係る身体障害者手帳は8月24日現在で99人の方に交付されている。



福祉ふれあい2017「手話コーラス」



小学校「手話指導」の様子



めら いたる
米良 格

土砂揚場の確保は

町長 詳細な残土処理場の計画をつくる

岡五十鈴川の堆積土砂の揚場の調査は。

町長

一昨年度に土捨場の適地調査済み。

町内5か所の候補地を選定し、概算土量の推計、排水対策、候補地の地権者調査など実施している。

今後は絞り込み、関係地権者の了解のもと、排水対策、防災対策を含め詳細な残土処理場の計画をつくる。



増水時の小園井堰付近

岡直近でも平成26年、28年、29年と台風、豪雨などにより、氾濫、冠水に遭い、五十鈴川の河川土砂の撤去の要望が上がっているが。

町長

五十鈴川の本格河川整備（土砂撤去など）については、日向土木事務所と協議しながら連携して取組んでいく。

岡県の河川整備計画でも河川土砂の撤去に努めるとあり、本町も土砂捨て場を早急に確保すべき。

町長

議員提案の産業団地造成の候補地も含め、私有地を買い上げ、捨て場活用も考えられるが、用地取得費、租税特別措置の問題もあり、しっかりとした計画を立てる必要がある。

岡県の河川整備計画によると、五十鈴川の基本高水ピーク流量は、更生橋付近で毎秒1400m³となっている。

町長

体積土砂で水かさが増さないよう、県と協議して欲しい。県と町とで連絡調整を図りながら、取組んでいく。

本町の指定管理者制度活用状況は

- 1 期間、内容
- 2 委託したことでのメリット、デメリット
- 3 今後の制度利用の見通し

来年度からの指定管理者公募の手続きに入っている状況で、新たに「子育て人づくりセンター」もこの制度への移行を目指している。更に、町内の他の公の施設についても、今後、「指定管理者制度」へ移行するかどうか検討していく。

町長

18年4月より「総合福祉センター」、「総合文化会館」、「グリーンエイティブセンター」、「勤労者体育センター」、「海浜総合公園」の5施設を当初3年間、その後5年ずつ、計13年間この制度で運営しており、来年度が更新の時期。

基本的に施設の使用許可の業務、建物、付属設備、備品の維持管理の業務委託である。

メリットとして、住民サービスの質の向上、多様化する住民ニーズへの効果的、効率的な対応に寄与している。デメリットはない。



総合文化会館

もりかわ はるお
森川 春夫

道の駅の設置は

町長 幅広く意見を聞き検討

岡本来の機能に、地元製品の販売促進や交流人口の増加策などを加えた、地域の核となるような道の駅を設置してはどうか。

町長

設置の条件や補助制度の問題、設置後の運営等も含め、中・長期的な視点に立って、農業・漁業・商工業のそれぞれの団体が一丸となって取り組むことが必要であると考えている。

今後、社会情勢など踏まえながら関係機関を含め、幅広く意見を聞く中で、検討して参りたい。

津波避難対策

岡南海トラフ地震でのレベル2の場合、津波到達最短時間が16分、浸水開始時間が早いところ20分以内と想定されている。

東日本大震災時の避難速度や避難開始時間などの調査結果や夜間

の場合、また河川や橋をも考慮すると、前述の想定の内避に避難するのは難しいと思われる場合もあり、避難困難地域を見直す必要もあるのではないかと。

町長

町や自主防災組織の定めた一時避難場所が68箇所あり、消防庁の定めた避難できる限界距離の目安である50



道の駅高千穂

0mの円は幾重にも重なり合う状況であるので、避難困難な地区はないと考えている。

巨大地震・津波に対しては、「命を守る」ことを基本として、被害の最小化を主眼とする

「減災」の考え方に基づき、防災・減災教育や啓発等により、迅速に避難行動が取れるようなソフト対策を講じていくことが重要。

「森林環境譲与税（仮称）」

岡配分が来年度から導入される森林環境譲与税（仮称）の使途について、本町ではどういう使われ方をされるのか。また新たな森林管理システムについて、現段階での考え方は。

町長

使途については、県近隣市町村や関係機関と連携をとり、本町や地域にあった使い方ができるように、協議、検討を重ねている。

また、新たな森林管理システムには、本年度に林地台帳の整備を行い、新たな森林管理制度に活用すると共に、今後検討していく。



林道塩見谷土々呂内線より



東日本大震災時の避難速度や避難開始時間などの調査結果や夜間



みずなが まさつぐ
水永 正継

丸バエ川の水害対策は

町長 可能な対策を検討したい

町長 丸バエ川流域は、過去に台風や大雨による水害を被ってきている。丸バエ川流域の水害の原因は。

町長 区画整理事業がされたが、水田として整備されたところも多くあり全体的に地盤が低い。洪水時に満潮・高潮の影響で丸バエ川の排水ができなくなる。

町長 この地域の水害対策の構想は。

町長 川の流域が広いので河口に強制排水施設の設置は困難。宅地が高い地域の道路のかさ上げ、簡易的な排水ポンプの設置など検討。

町長 建設課長 国道10号の冠水対策で、毎年町は国土交通省・県と協議している。対策を検討したい。



丸バエ川河口の樋門

取替え工事完了後
門川中ブロック塀



町長 ブロック塀の安全対策は

町長 圃地震によるブロック塀倒壊の危険が明らかになった。ブロック塀の安全対策は。

町長 教室に冷房装置を

町長 圃近年の夏の暑さは異常である。学校の教室に冷房装置は設置できないか。

町長 C型肝炎の公費助成は 圃過去の集団予防接種等による注射器の連続使用によりC型肝炎ウイルスに感染の恐れがある。長い年月を経て肝臓がんに移行することが言われている。

町長 圃国が集団予防接種における注射器の連続使用を行った時期は。

町長 圃昭28年7月1日から昭和63年1月27日まで。

町長 圃どんな集団予防接種を行ったのか。

町長 圃種痘・三種混合・麻し

町長 圃ん・風しん・日本脳炎・インフルエンザなどの予防接種とツベルクリン反応検査。
圃C型肝炎検査の受診方法は。
圃町が実施する肝炎検査に申し込みを行い、集団検診または医療機関での検診。
圃個人負担は1500円。町が4903円負担する。無料クーポン券を送付されている方は無料。
圃肝臓がんになる原因の80%以上がB型・C型肝炎ウイルスの感染によるものである。

町長 圃肝臓がんになる原因の80%以上がB型・C型肝炎ウイルスの感染によるものである。

町長 圃昭28年7月1日から昭和63年1月27日まで。

町長 圃昭28年7月1日から昭和63年1月27日まで。対象者946人のうち受診は84人。クーポン対象者以外の受診者は52人。これまでに246人が受診。肝臓がんになる原因の80%以上がB型・C型肝炎ウイルスの感染によるものである。

めら しょうへい
米良 昭平

門川城跡の保存

町長 まずは県指定文化財に

町長 圃門川城跡の保存には、本丸跡と二の丸の間の斜面に展望台を建ててはどうか。原型保存に最善の方法では。

町長 圃門川城跡は貴重な史跡で、まずは県指定文化財にすることが望ましいと考える。圃県指定の厳しい管理条件で保護・保存していくことで、長い歴史や風土、先人たちにより培われ、守られてきた財産を後世に引き継いでいけるのではないかと。

圃また、門川城のような山城は、特に当時の景観が残っていることが大事であるため、増設や植栽などの工事は地形を壊すことにつながり、価値が損なわれる可能性があるのではないかと理解いただきたい。



修繕された門川城跡の揭示板



門川城跡

平成30年度第6回議会報告会のお知らせ

今年度も以下により議会報告会を行います。多数ご参加ください。

◎日時、会場

実施日	曜日	時間	会場
10月31日	水	19時開会～20時30分閉会予定	宮ヶ原公民館
11月 1日	木	19時開会～20時30分閉会予定	梅ノ木集会所
11月 2日	金	19時開会～20時30分閉会予定	庵川東公民館

◎内容

議会の活動報告と住民との意見交換会を予定しています。

人事案件

教育委員の任命同意

現委員が本年9月30日をもって任期満了に伴い、次期委員の任命の同意を求めるもの。
久保 廣良氏(再任)
(同意・全員賛成)

条例の改正

非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正

本町の魅力的な地場産品等を「門川ブランド」として認定し、販路拡大及び包括的なPRを推進するために設置する「門川推進会議」のブランド推進委員の報酬等を規定するもの。
(可決・全員賛成)

子育て人づくりセンター設置条例の一部改正

指定管理者の公募を行うにあたって、近隣同種の施設と運営に関する条件を同じとすることで広域的な連携などの質の高い計画をもった応募が望め、安定した運営ができるよう改正するもの。
(可決・全員賛成)

条例の制定

町景観条例の制定

町の良好な景観の形成に関して、町の責務や町民及び事業者の責務を定めるほか、景観計画を制定し、景観計画区域内の一定の行為の届出を義務付け、その行為に対する助言や指導、勧告などを規定するもの。
(可決・全員賛成)

発議

地方財政の充実・強化を求める意見書

自治体は、子育て支援、医療、介護などの社会保障、地域交通の維持など、果たす役割が拡大するなかで、地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、社会保障の充実、地方財政の確立を目指す必要がある。
このため、31年度の地方財政予算全体の安定確保に向けての対策を求めるもの。
(可決・全員賛成)

産業建設常任委員会
現地調査報告

過日、竹名地区会長から平成28年度発生した浸水被害を受けて、今後さらに被害が増大する事が懸念されるとの相談があり、現地視察を行った。

現場は地区公民館周辺で、以前と比較して浸水被害の発生する頻度が多くなった場所、構造的問題、近年の集中豪雨などの降水量の問題、広域農道開通により大雨時の水量の増加などによるのではないかと説明を受けた。

地区の方々も水の浸入防止柵などの準備はしているが、急な増水時には高齢のため早急な対応が困難であるなどの問題もある。
地区役員との意見交換会では、工事車両等の通行する際に発生したであろう轍の路面補修の要望をしても未だ改善が見られない。
また、浸水の一つの



意見交換の様子

要因と考えられる治山ダムの堆積土砂の早急な撤去をお願いしたい。
ため池の修復工事の時に発生した土砂が民家付近に溜まり未だ除去されていない。
川の土砂を20mにわたって除去したが、継続してやらないと再び堆積して浸水する可能性がある。
以上のような意見があった。公民館付近の浸水被害については災害軽減を図るため、水路に架かる橋の調査等を検討してどうかというのが本委員会の一致した意見である。
(記 菊地)

議員定数削減、町長町議同時選挙を検討

議会活性化特別委員会

委員会内での議員間討議、同じ課題を持つ他の町議会との意見交換、要望書提出者である地区会長・自治公民館長連合会の理事の皆さんとの意見交換や議員研修を行いながら、12月定例会において報告ができるよう協議検討を進めています。
(記 森川)

6月議会で3月末に地区会長・自治公民館長連合会から提出されました要望事項についても検討するよう追加付託されました。

要望の内容は、平成31年2月執行の町議会議員選挙から、定数を現在の14人から10人に削減することと、平成34年4月執行予定の町長選挙において、町議会議員選挙(任期4年を短縮して)も同時に行なうことの2つです。

『役場庁舎の高台移転計画の凍結と防災対策の抜本的見直しに関する陳情書』の対応について(報告)

本年9月3日付で「住民団体 門川町を考える会」より町民8253名分の署名とともに提出された陳情書につきましては、「議長あずかり」とし、全議員へ配付いたしました。これは、9月18日に開催された議会運営委員会での審査を経て決定したもので、当議会としては、本年3月定例会において関連予算を全会一致で可決しておりますので、成立した議決を遵守していく姿勢です。

また、新庁舎建設問題については、先日、町長に対しこれまで以上の町民の理解度を上げる対策を講じるよう要望したところです。町民の皆様のご理解ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



議会運営委員会

平成30年 第1回 臨時会

去る7月26日、臨時会が開催されました。案件は、補正予算議案1件で、審議の結果、全員賛成により可決しました。

30年度一般会計補正予算

歳入・歳出とも1300万円追加
総額 75億1400万円

歳入

地方交付税……………1300万円

歳出

災害復旧費……………550万円

教育費……………750万円

集中豪雨・台風7号により被害のあった庭谷・津々良小野線等の災害復旧に係る委託費など、また大阪府北部地震における小学校ブロック塀倒壊に伴う学校施設の点検によって、安全対策を行なう草川小と門川中のブロック塀改修の工事請負費



改修工事前 上：門川中学校
下：草川小学校



地域の力特集

草川小学校読み聞かせボランティア 『どんぐりの会』 代表は、荒殿 亜矢さんです

「どんぐりの会」のメンバーは、草川小学校児童の保護者と地域の方たちの9人です。

活動は、毎週金曜日の1時間目の授業が始まる前の20分間、各教室で1度に2学年4クラスに4人で読んでいます。

季節に合わせてたり、行事に合わせてたりしながら、外国の本、関西弁の本など、子どもたちに喜んでもらえるように、毎回本を選んでいきます。

本の内容で笑ったり、おどろいたりして、目をきらきらさせて、注目して見てくれる子どもたちがみんなとてもかわいいです。

また、年に2回ほどメンバーが集まり、お茶を飲みながら本の話や読み方の情報交換など、楽しく打合せをしています。

子どもが好きな方、本が好きな方、ボランティアをしたい方、年齢、性別、地区に関わらずメンバーを募集しています。

読み聞かせしようよ。

(編 森川)



↑読み聞かせ活動中↓



●議場にきてみらんね!

9月議会には11人の方に傍聴いただきました。次回の定例会の予定は12月4日(火)から12月10日(月)まで7日間の日程で開催される予定です。(※日程は変更になる場合があります。)どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しいただき、皆さまのご意見・ご感想をお願いいたします。

議会だよりに対するご意見・ご感想もお寄せください。

お問い合わせ：議会事務局 TEL 63-1140(内線271)

編集後記

小中学校の運動会も終わり、過ぎやすい季節となってきました。今回の定例会では29年度決算、本年度の補正予算など全員賛成で議決しました。また、先に行われた臨時会では、台風7号災害復旧工事や小中学校のブロック塀改修の予算を議決しました。

議会活性化特別委員会では「議会基本条例」や「議員定数削減・町長町議同時選挙」について協議をしています。さらに、「住民団体 門川町を考える会」から陳情書が提出され、この陳情に係る議会運営委員会や全員協議会は、住民の皆様にも広く周知を図るために傍聴していただきました。今後も議会は町民の皆様にも寄り添い、開かれた議会を目指してまいります。

議会広報編集特別委員会

(記 中城)

委員長	森川 春夫
副委員長	米良 格
委員	小林 芳彦
委員	菊地 稿治
委員	中城 資力

■ 発行者／門川町議会議長 森 誠一
■ 編集／議会広報編集特別委員会
〒889-0696
宮崎県門川町本町1丁目1番地
TEL(0982) 63-1140
印刷／ヤマシタ印刷

